



～認知症サポーター養成講座～ 寸劇を見て、認知症に対する理解を深めよう 中学生が認知症の方への接し方などを学ぶ講座を開催（7/11）

龍ケ崎市では、次代を担う子どもたちにお年寄りのことや「認知症」について知ってもらうため、龍ケ崎市立城南中学校（青山利正校長・生徒数189人6月1日現在）の3年生・教員約80名を対象に『認知症サポーター養成講座』を令和元年7月11日（木）に開催します。

市では、現在の高齢社会の現状や高齢者への接し方をはじめ、今後増えていくと予想される「認知症」について学習機会を創出するため、昨年度より市内の小・中学校や高校の生徒に対して当該講座を実施しています。

子どもたちに分かりやすく、認知症の人への接し方を体感してもらえよう、講座を工夫し、「教材」による説明だけではなく、市職員による「寸劇」を交えたロールプレイを行うなど、理解を深めやすいカリキュラムを組んでいます。

過去に受講した生徒からは、「おじいちゃんへの接し方が分かった」、「もっとおばあちゃんにやさしくしたいと思う」、「困った高齢者がいたら助けてほしい」、「劇では本当の認知症の人が出てきたと思った」など、様々な感想が寄せられ、大変好評の講座です。

なお、今回の開催は、城南中学校の生徒が今秋に特別養護老人ホームへ訪問に行くための事前学習として、依頼をいただいたものです。講座で学んだことを施設への訪問の際に大いに役立ててもらえるように準備をしています。

本市では、国において今般示された「認知症予防に関する大綱」でも「学校教育などで認知症の人についての理解促進」の取り組みが掲げられていることから、今後もこのような講座の開催をはじめ、認知症予防に向けた様々な取り組みを率先して展開してきます。



▲ 職員が認知症高齢者に扮した寸劇(昨年度)

■日 時	令和元年7月11日（木） 午後2時から午後2時50分まで
■場 所	龍ケ崎市立城南中学校（所在地：龍ケ崎市1736）
■参加者	龍ケ崎市立城南中学校3年生 生徒・教員 約80名（予定）
■その他	講座終了後、教員および生徒へのぶら下がり取材可能です
■資 料	『認知症を知ろう』認知症サポーター中学生養成講座副読本（講座配布用テキスト）

担当課	龍ケ崎市 健康づくり推進部 健幸長寿課 地域包括支援センター 担当者：山口・糸賀（やまぐち・いとが） 連絡先：0297-62-8686（直通）
-----	---